

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

#### 【研究課題名】

本邦における腸管型ベーチェット病（含む、単純性潰瘍）に対する外科治療の現状調査

#### 【目的】

腸管型ベーチェット病と単純性潰瘍は手術治療を必要とすることが多く、術後合併症や再発の確立も高いとされていますが、日本では外科治療についての現状を明らかにした報告はあまりみられません。そのため、外科治療の適応や手術術式、再発、再手術の割合などを調査し、外科治療の現状と問題点を明らかにすることを目的として行います。

#### 【対象】

腸管型ベーチェット病または単純性潰瘍に対し、手術を行った方

#### 【方法】

診療記録より当院研究担当医師が調査用紙に記入し、研究事務局（当院）で回収します。回収した情報は当院で解析し、厚生労働省のホームページに掲載している難病克服事業における公開や論文として公表されます。

#### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありませんが、生年月については再発時の年齢などを算出するため、使用させていただきます。

#### 【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、生年月、診断日、症状、診断時期、手術前の病態、治療、手術日、手術内容、術式、病理診断、術後合併症、再発の有無、再手術の有無 等）

#### 【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2018 年 12 月 31 日まで

#### 【研究組織】

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班  
ホームページ <http://ibd-japan.org/>

#### 研究参加施設

東北大学 分子病態外科、東北労災病院 大腸肛門病センター、仙台赤十字病院 外科、  
東京大学 大腸肛門外科、東京大学医科学研究所附属病院 外科、東京女子医科大学 第2外科  
新潟大学消化器・一般外科、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター  
三重大学 消化管小児外科、奈良医科大学 消化器総合外科、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター、  
大阪大学 消化器外科、西宮市立中央病院 外科、兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 外科部門  
福岡大学筑紫病院 外科、横浜市立市民病院 炎症性腸疾患センター

#### 【研究代表者】【当院の研究責任者】

横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科 小金井 一隆

#### 【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56  
電話 045-331-1961（病院代表） 炎症性腸疾患科 小金井 一隆

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。